

## (はじめに)

新学期が始まり、1週間が過ぎようとしています。

今年度229名の新入生を迎え、全校生徒は704名となり、昨年度に引き続き、市内一の学校規模となりました。

学校は相変わらず、年度初めの慌ただしさが続いています。1年生も少しずつ中学校の生活に馴染み始めています。さて今年度も、校訓である「和学鍛」をタイトルとした朝明中学校通信(校長便り)を発行いたします。



この「和学鍛」では、保護者の **【校門(西門)にある和学鍛が刻まれた石碑】** 皆様とともにお考えいただけるような内容・情報をお伝えできればと考えています。

## ○ 一年を通して大切にしていきたいこと

本校は、「笑顔と感動があふれる学校」と「自分と仲間を大切に子ども」を、それぞれのめざす姿としています(※詳しくはHPをご参照ください)。このことを実現するため、昨年度から、「校歌」「挨拶」「時間」「整頓」を具体的に充実させる取組として生徒に指導してきました。その成果等を簡単に綴ってみます。

### 「時間」「整頓」

従来から生徒はかなりしっかりと取り組めており、これまでも学校に来校いただいた方々から、整然とした授業の様子、整備された掲示物、すみずみまで行き届いた校内美化などについて、お褒めの言葉をよくいただきました。このような良いところに関しては、今後も日頃からの指導を継続することで、維持していきたいと考えています。

### 「校歌」

卒業式などの大きな学校行事で歌われていましたが、その機会は決して多くありませんでした。そこで、昨年度から月に1回程度は行われる学校集会でも校歌を歌うようにしてきました。また当初は自信を持って斉唱できなかつたこともあり、体育館のギャラリーに校歌の横断幕を設置するなど、歌いやすい環境づくりを進めました。その結果、次第に歌声は響くようになり、本年3月の卒業式には立派な校歌斉唱を披露することができました。

### 「挨拶」

昨年の1学期、生徒にアンケートをとりましたが、「学校で会う誰に対してもできていますか？」の質問に対し、「できている」とした生徒は45.9%、「まあまあできている」とした生徒は47.0%で、肯定的な回答は92.9%という結果となりました。

(裏面に続きます)

しかし教師の感想は、“生徒が挨拶と捉えているレベルが、教師のそれよりもかなり低いのではないか”というものでした。そこで、次のような趣旨を生徒に伝えました。

将来、どのような職業に付こうが、どのような環境で生活しようが、挨拶は人間関係を築くためにとても大切な行為です。その挨拶は「口」と「目」と「心」を開くことが大切です。口を開くこととは「声を出す」ことであり、目を開くこととは「相手を見る」ことです。そして心を開くこととは、「笑顔を向ける」ことに他なりません。

このように取組を進める中で、たいへんうれしいことがありました。それは、後期生徒会役員の生徒が、3学期に「あいさつ運動」を始めてくれたことです。彼らは、朝、部活動を終えて校舎に入る仲間に対し、啓発“のぼり”を手に挨拶を呼びかけてくれたのです。このような生徒による自主的な取組は、今後大きな成果がもたらされると期待しています。



本年度、四日市市教育委員会から四日市版コミュニティスクールの指定を受けたことや、土曜授業が本格的に始まることなどから、昨年以上に保護者・地域の方々に学校におこしいただける機会が多くなると思います。このことから、「校歌」「挨拶」「時間」「整頓」を大切にしたい取組を今後も進め、目で見たり肌で感じたりしていただける生徒の成長を、教職員一丸となって図っていきたくと考えています。

本年度も、本校教育活動に対するご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

### (おわりに)

50年以上にわたり歌い継がれている伝統ある本校校歌ですが、歌詞は古い言葉（文語調）のため、日常的な言葉（口語調）にした歌詞を添えご紹介します。

一 朝明川 流れゆるくて 低き丘つづきたがう ああここに 吾等は和む

朝明川は、ゆったりと低い丘をぬって流れているよ

ああ（朝明中学校に集った）私たちは、（友情をはぐくみ）心和やかになるよ

二 平津山 諸木茂りて しずけさのうちにこまれる ああここに 吾等は学ぶ

平津山は、木が生い茂った静かな森におおわれているよ

ああ（朝明中学校に集った）私たちは、（仲間とともに）学ぶよ

三 ひらけたる 土に立ち出で いや広き空をいただく ああここに 吾等は鍛う

開けたこの大地に立ち見渡すと、頭上には広大な空が広がっているよ

ああ（朝明中学校に集った）私たちは、（心と体を）鍛えるよ

今後も機会あるたびにこの素晴らしい校歌を歌うことで、生徒たちがより本校の一員であることが実感できるようになることを願い、さまざまな集会で教師とともに歌っていきたくと考えています。文化祭等の学校行事で来校された際には、生徒の力強い校歌斉唱にご期待ください。

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。